

# 子どもが読む、 歴史が好きになる

## 「問いが生まれる、子どもの心を動かす」



### 安井俊夫

\*元愛知大学  
\*学会代表

この教科書は、「子ども用の本」です。歴史教科書は、重要語句を中心に説明調で書かれていますから、子どもが自ら読むには不向きでした。場面ごとの歴史のイメージが浮かんできません。

この教科書は、そこを一新。子どもが読む、何か感じる、疑問がわいてくる、そんなことができるようにつくりました。

紫式部の『源氏物語』も、作者名と書名だけでは子どもの心は動きません。学問にも笛や琴にも秀でる主人公光源氏の人となり、義母となる藤壺を慕う彼の心情から物語が始まることを描きました。

## 「歴史のなかから、人びとの声が聞こえる」



### 山田麗子

\*元公立中学校教員  
\*学会副代表

学び舎の教科書には、子どもや女性がたくさん登場します。歴史の裏に隠れがちな人びとの姿に接することで、生徒たちは新鮮な発見をし、自分につながる歴史を学ぶことができます。

働く子ども、飢饉の時に売られる子ども、戦火の中を逃げまどう子どもの姿からは、時代の特色が浮かび上がってきます。寺子屋や学校での学習もくわしく記述し、社会が進んでいく方向を、子どもを通してつかめるようにしました。

女性も歴史の主体として、その働き、学び、権利の運動などを多く描きました。教科書から人びとの声が聞こえ、語りかけてきます。

## 歴史への案内

### 第1部 原始・古代

- 第1章 文明のはじまりと日本列島
- 第2章 日本の古代国家

### 第2部 中世

- 第3章 武士の世

### 第3部 近世

- 第4章 世界がつながる時代
- 第5章 百姓と町人の世

### 第4部 近代

- 第6章 世界は近代へ
- 第7章 近代国家へと歩む日本

### 第5部 二つの世界大戦

- 第8章 帝国主義の時代
- 第9章 第二次世界大戦の時代

### 第6部 現代

- 第10章 現代の日本と世界

各章のはじめは [地球を見渡す扉ページ]  
各章・各部の終わりにまとめと表現活動

### 歴史を体験する

火おこし/  
インターネットで『洛中洛外図屏風』を見る/  
地域の歴史を歩く／綿から糸を紡ぐ/  
対話・討論にチャレンジ／人物調べ/  
家族の歴史を調べる

### 充実した年表と索引

全18ページ 世界の中の日本を  
歴史事典にもなる資料